

お手製パンとジャム おいしいよ

我孫子・湖北特別支援学校

地元・川村学園女子大と連携

我孫子市日秀に昨春開校した県立湖北特別支援学校が20日、教育活動を紹介するミニ集会で、地元の川村学園女子大と連携して開発したパン「ホウレン草ロール」と「りんごジャム」を披露した。

同校は、我孫子特別支援学校高等部が分離・移転し旧県立湖北高校にできた。普通科83人と今春開設された専門学科（流通サービス科）で16人が学んでいる。

同大が地元産トマトでジャムを商品化したことを知り、大坂佳保里・生活文化学科教授に協力を依頼。ロールパンは普通科



農耕班の16人がグラウンドの一角にある実習農地で栽培するホウレン草を活用した。りんごジャムとともに、大坂教授の手は

どきを受けながら、流通サービス科の8人が開発に取り組んだ。

集会では同科の3人が発表。父母らを含めて約40人にりんごジャム（70g入り）をうれしそうに配った。狩野花瑛さん（16）は「パンもジャムもとてもおいしい。この調子で頑張りたい」と笑顔で話した。

ロールパンは100円（1袋3個入り）。21日の支援学校の文化祭から、校内に設ける専用コーナーで生徒たちが販売する。ジャムは今後商品化する予定だ。

ロールパンやジャムを披露する特別支援学校の生徒たち。我孫子市日秀